

令和2年7月9日

保護者の皆様

飯豊町立第二小学校

校長 高橋 戒舟

緊急災害時等における対応について

梅雨明けが待たれる今日このごろ、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

また、本校の教育活動に対しまして常日頃より深いご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、本校では万が一の緊急災害時における保護者の皆様との連絡の取り方を別紙のようにさせていただきます。万が一に備えてご承知おきいただき、不測の事態の際にご協力をいただきますようお願いいたします。

なお、ご不明な点は学校（教頭）へお問い合わせ下さい。

想定事態

吹雪、暴風雨、雷雨、道路冠水、地震、近隣での熊や不審者出没情報、
感染症での授業取りやめによる緊急下校

* 登校時の悪天候などは、学校からの連絡の有無にかかわらず、通学班のご家庭同士で連絡を取り合ってください、保護者の判断で送迎いただくことは構いません。

児童の安全第一と考えますので、よろしく申し上げます。

1 登校する前

想定：台風、吹雪、暴風雨、雷雨、地震、近隣での熊や不審者出没情報、新型コロナ感染 等

① 前日、子どもたちの下校前・・・通知文書

② 当日朝、子どもたちが家にいる場合

・・・6：30までに緊急配信メールで配信

予想される内容：通常通りの登校、保護者の判断で送迎、ご家族へ送迎依頼
自宅待機（始業時刻を遅らせる）、臨時休業 等

2 登下校中・・・児童に指導しますのでご理解と対応をお願いします

想定：地震、道路の冠水、近隣での熊や不審者出没情報、雷雨、ミサイル発射 等

* ミサイル発射等、児童は通学路上で情報を取得し得ないことについては大人の助けが必要です。情報を得た時に自宅近くに児童がいる場合は避難誘導をお願いします。地域の方にも学校便りを通してお願いします。

* 学校でも情報を得次第、緊急メールでお知らせします。

① 子供達は最寄りの安全な場所に待機

* 災害によっては(道路の冠水や急な雷雨等)近くの民家に避難させてもらう。その場合はそのお宅から自宅へ連絡を入れてもらう。連絡がきたら学校へもご一報ください。

② 地震等が治まったら学校又は自宅の近い方へ向かう。

③ ご家族等の協力をいただいて、大人の方が学校までの通学路でお子さんを確保をお願いします。その際、お子さんを確保して自宅に戻られた場合は、学校へご一報ください。

学校に到着し（引き返し）て安否が確認できたお子さんについてはメールなどでお伝えします。

* スクールバスでの登下校中は何らかの形で学校が状況を把握し、メール等で連絡します。

3 登校した後（子どもたちが「学校」にいる場合）

弱い地震や停電があっても、教育活動が可能な場合・・・ **通常通りの学習**

A 通学路上の危険が少ない場合

緊急配信メールで配信

その後、**一斉下校**（教師が引率して、方面毎の集団下校）

<下校先>通常の場合と同じ（安全な場合は、学童へも）

B 児童だけの帰宅が困難な場合・・・毎年何回か発生しています

想定：吹雪、暴風雨、雷雨、軽い冠水、地震、感染症による授業打ち切り、
近隣での熊や不審者出没情報 等

緊急配信メール（HPにも掲載）で迎えをお願いし、ご家族へ引き渡し

- * 降雪期以外は事故防止のため自動車は東側入口から入り校舎を回って出る一方通行
- * **「下校予定時刻には間に合わないが、迎えには行く」場合、学校へご一報ください。**
- * **ご家族以外の方に迎えを依頼される場合も学校にもご連絡下さい**

児童の安全が確保できない(ライフラインの切除が顕著)場合

想定：極端な吹雪や暴風雨、道路冠水、他県を震源とする大地震 等

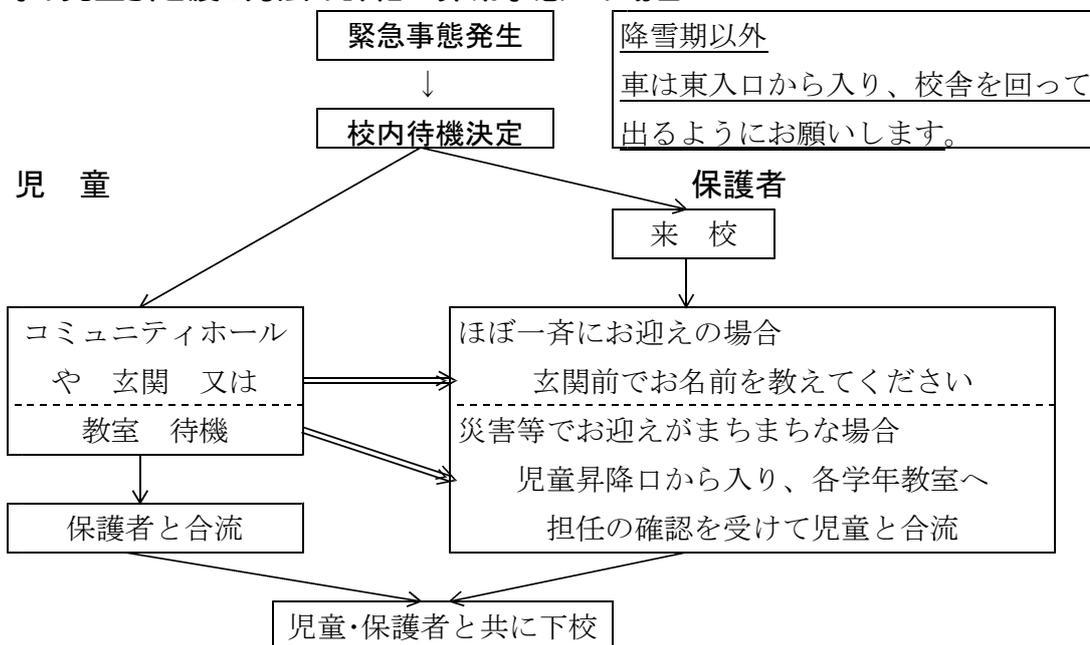
校門付近の電柱と昇降口に **「赤色の旗」** の掲揚

緊急配信メールにてお知らせしますが、メールが配信不能な場合もあります。

赤旗を確認した場合はお迎えをお願いします。

**児童は教室待機→ 迎えに来た保護者(または、それに代わる方)へ
直接引き渡し**

《緊急時の児童引き渡し方法の詳細》非常事態Bの場合



C それ以上の非常事態

想定：置賜を震源とする大地震、白川の決壊 等

児童は校内待機、場合によって町当局と連携して避難所へ移送。

学校が避難所となる事態では子どもを学校に残して、避難者受け入れ